



平成28年度 北区きらりと光るものづくり顕彰 きらめき企業部門 受賞社一覧



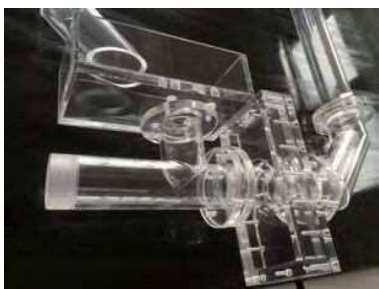
企業名 株式会社一水製作所
所在地 東京都北区浮間 3-7-2
電話 03-3968-2131
URL <http://www.issui-ss.co.jp/>
企業概要 バス事業全般に関する機器の開発・製造・販売を手がける。高速バス料金機のトップメーカー。



企業名 三陽電工株式会社
所在地 東京都北区十条仲原 1-1-8
電話 03-3908-5191
URL <http://www.sanyo-denko.co.jp/>
企業概要 自動車・計測器・照明用等の各種電線・端末加工メーカー。規格電線の他、過酷な環境にも耐える特殊仕様の複合ケーブルを製造している。



企業名 株式会社十條合成化学研究所
所在地 東京都北区滝野川 3-84-2
電話 03-3910-4292
URL <http://www.jujo.co.jp/>
企業概要 化学薬品、化成品、試薬メーカー。金属メッキ等に使用される 1.10 フェナントロリンを国内で唯一製造している。



企業名 大栄工業株式会社
所在地 東京都北区昭和町 3-4-8
電話 03-3800-8061
URL <http://www.daiei-industry.co.jp/>
企業概要 プラスチック製品や製品のモックアップ（試作品）を主に製作。理化学関連部品に強みを持つほか、有名ブランドのディスプレイも手がける。



企業名 株式会社玉越工業
所在地 東京都北区昭和町 2-14-10
電話 電話 03-3800-0430
企業概要 自転車製造会社。折りたたみ自転車やマウンテンバイクなど様々な自転車を取り扱っており、幼児・子供自転車においては業界トップクラスの販売実績を誇る。

北区きらりと光るものづくり顕彰



社屋外観

きらめぎ企業部門

株式会社一水製作所

所在地 東京都北区浮間 3-7-2

電話 03-3968-2131

ホームページ <http://www.issui-ss.co.jp/>

受賞の概要

高速バス料金機のトップメーカーである一水製作所は、1959年の創業です。当初はプラスチック加工を手掛けていましたが、新幹線制御室の列車位置表示版、パチンコの貸玉機的设计製作へと進出しました。バス関連の仕事の手始めは、小田急バスほかバス事業者5社に納入した料金精算システムでした。

その後、高額紙幣対応の料金機の開発に成功すると、全国の高速バス運行会社に売り込みを始め、顧客を拡げていきました。同社は、Suica や PASMO の普及にあわせて IC カード精算機を開発し、路線バス運行会社にも販路を拡げました。このほか、ドライブレコーダーやソーラー式バス停なども開発しています。

同社は 2015 年にタブレット PC を搭載した高速バス用料金機を開発しました。この新型料金機はデータ通信機能を持ち、予約システムとの連動、ビッグデータへの対応も可能です。バス車載の料金機でのクレジットカード決済機能の開発に取り組むなど、画期的な製品の開発に余念がありません。



展示会に出展した様子



バリアフリー型高速バス料金機
(しずてつジャストライン様車両設置機)

平成28年度

北区きらりと光るものづくり顕彰



小林社長(前列右から3番目)と社員の皆様

きらめき企業部門

三陽電工株式会社

所在地 東京都北区十条仲原 1-1-8

電話 03-3908-5191

ホームページ <http://www.sanyo-denko.co.jp/>

受賞の概要

三陽電工は、1946年に創業し、当初は伸銅を手掛けていました。1950年に絶縁電線の製造免許を取得してから、電線・ケーブルメーカーとして事業を続けています。

同社は、規格電線のほか、特殊仕様の複合ケーブルを製造しています。これまで設計・製造したケーブルは平成以降だけでも5千種にのぼり、多くは自動車や計測機器向けに出荷されています。

国内には世界的な大手電線メーカーが存在し、競争も激しくなっています。同社は、このようななかで中小メーカーの特色を活かすとともに、独自のアイデアや技術開発によるケーブル、電線の商品化に努めています。例えば、電灯などの吊り下げに使う屋内配線用DCコードを商品化しました。これは高張力繊維とめっき線編組を一体化した構造で、機械強度に優れ、加工性も良いケーブルです。また、自動車などでは軽量化のためにケーブルにアルミが多用されるようになっています。アルミと銅の接合部は腐食しやすいため、独自の腐食防止技術の開発を進めています。

今後は、「円形材」、「線材」メーカーというコンセプトで独自の技術と商品の開発を加速させたいとしており、カテーテルなど医療用ケーブルの開発にも取り組んでいます。



燃合機と呼ばれる装置で、被覆されたコードのほか、パイプ、光ファイバ、銅線などをロープ状に撚り合わせています。



鎧装付ケーブル（衝突実験用）



City of Kita

平成28年度

北区きらりと光るものづくり顕彰



フェナントロリンの結晶

きらめき企業部門

株式会社十條合成化学研究所

所在地 東京都北区滝野川 3-84-2

電話 03-3910-4292

ホームページ <http://www.jujo.co.jp/>

受賞の概要

十條合成化学研究所は、有機試薬の製造販売を目的とし、1951年に創業しました。その後、無機試薬のほか、硝酸塩類や硫酸塩類、硝酸鉄や硫酸鉄の製造を始め、製造品目が多様化しました。硝酸鉄は現在でも製造部門の主力品目の一つです。

同社が製造する品目のなかで、1.10 フェナントロリンが注目を集めています。このフェナントロリンは自社でプラントを考案し製造を始めたもので、同社が国内唯一のメーカーです。フェナントロリンは塗料や触媒などに用いられ、需要の拡大とともにプラントを増強しています。フェナントロリンは、有機 EL の誘導体に使われる可能性があるということから大学と共同研究を始めています。また、同社のメタノール水も大きな可能性を秘めており、将来は燃料電池に使用される可能性を模索しています。



フェナントロリン合成釜



メタノール水調合装置



City of Kita

平成28年度

北区きらりと光るものづくり顕彰



社屋外観

きらめき企業部門

大栄工業株式会社

所在地 東京都北区昭和町 3-4-8

電話 03-3800-8061

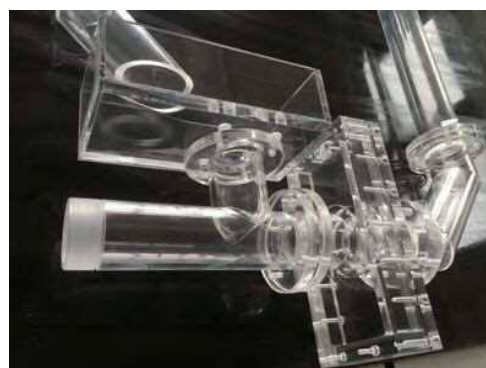
ホームページ <http://www.daiei-industry.co.jp/>

受賞の概要

大栄工業は、機械彫刻の技能を駆使したプラスチック製の看板や特殊ディスプレイなどの仕事からスタートしました。

同社は同業者との差別化を意識し、工夫を重ねて様々な加工を試みるほか、マシニングセンタをいち早く導入し、受注の多様化を図ってきました。現在、同社にはマシニングセンタなどの設備がある一方で、彫刻機がおかれています。高精度設備と汎用機を巧みに使い分けて多品種少量生産に対応し、受注の拡大に努めています。

同社はこのような特徴の下で、理化学研究機器関連製品や玩具などの試作において注文先が抱くイメージを忠実に再現することに定評があり、精密機械部品等の量産品にも幅広く対応しています。



アクリル製理化学研究機器

平成28年度

北区きらりと光るものづくり顕彰



佐藤社長(前列右から3番目)と社員の皆様

きらめき企業部門

株式会社玉越工業

所在地 東京都北区昭和町 2-14-10

電話 03-3800-0430

受賞の概要

玉越工業は、1950年の創業で、当初は子供用三輪車のフレームの溶接加工をしていました。その後、1960年代の終わりからは、子供用自転車の製作・販売を始めました。現在は、大人用自転車も製作し、全国の販売店に納入しています。

同社はシティサイクル、マウンテンバイク、クロスバイクなどのほか、長年作り続けている子供車と合わせて毎年2～300種類を製作しています。多くの車種を扱う背景には、流行とともに自転車に対する需要が多様化していることがあります。同社は、その時々ニーズに応じた自転車を製作・販売し、堅実な経営を続けています。

日本国内には概ね30社の自転車メーカーがあり、国内の自転車販売台数は年間約800万台です。同社は、特に子供用自転車で多くの車種を製作・販売することにより、自転車業界での地位を築いています。

また、同社は自転車の安全性を高めるため、協力メーカーとともに様々な改善にも努めています。社内試験の他に日本車両検査協会でも定期的な試験を行い、結果を製品へフィードバックしています。常に品質向上を目指す努力も同社が揺るぎない地位を築いている要因です。



ジュニアシティ「Bee!」



玉越工業オリジナルパーツ



City of Kita



平成28年度 北区きらりと光るものづくり顕彰 きらめきの技人部門 受賞者一覧



氏名(就業先) 我妻 雅之 (我妻表具内装)
所在地 東京都北区浮間 2-25-16-2F
電話 03-3969-8151
メール kantaro6400@gmail.com
技能概要 高襖、屏風、額装、障子、壁装など、日本の伝統的な技能を残す活動をしている。北区伝統工芸保存会会員、東京都伝統工芸士、厚生労働省ものづくりマイスター。



氏名(就業先) 稲場 久也 (ファースト電子開発株式会社) **若手枠**
所在地 東京都北区上十条 4-15-5
電話 03-5248-6644
URL <http://www.first-ele.co.jp/>
技能概要 電子回路のハードウェア・ソフトウェアの開発、設計、製造業務に従事。自衛隊記念日観閲式の大規模行進で歩調を合わせるための号令等共有装置を開発した。



氏名(就業先) 岩田 成弘 (電子磁気工業株式会社) **若手枠**
所在地 東京都北区浮間 5-6-20
電話 03-5970-8681
URL <http://www.emic-jp.com/>
技能概要 磁気を応用した非破壊検査機器メーカーにて開発製造業務に従事。当人が開発した磁気計測器は高精度・高分解能な測定を実現し、効率化する磁性材料の開発に大きく寄与している。



氏名(就業先) 川畑 裕輔 (宮澤建設株式会社) **若手枠**
所在地 東京都北区志茂 2-51-4
電話 03-3901-9703
URL <http://miyazawakensetu.co.jp/>
技能概要 個人住宅、マンション、公共事業などの建築物の設計・施工管理に従事。1階を鉄筋コンクリート構造、2階を木造とする「ハイブリッド工法」のスペシャリスト。



氏名(就業先) 興梠 健児 (株式会社藤原製作所) **若手枠**
所在地 東京都北区西ヶ原 1-46-16
電話 03-3918-8111
URL <http://www.fujiwara-sc.co.jp/>
技能概要 理化学機器メーカーにてガラス加工、成形業務に従事。パイレックスガラスと石英ガラスという両方のガラス素材を扱え、また、規格品と特注品のいずれも対応できる、数少ない職人。

北区きらりと光るものづくり顕彰



きらめきの技人部門

我妻 雅之 我妻表具内装

所在地 東京都北区浮間 2-25-16-2F

電話 03-3969-8151

メール kantaro6400@gmail.com

受賞の概要

我妻雅之さんは、表装など日本の伝統的な技能を残す活動をしています。我妻さんの実家は建具店で、大学に通う傍ら、建具製作の技能を習得しました。その後、表具店に入り、襖張りなどの技能を身に付けました。

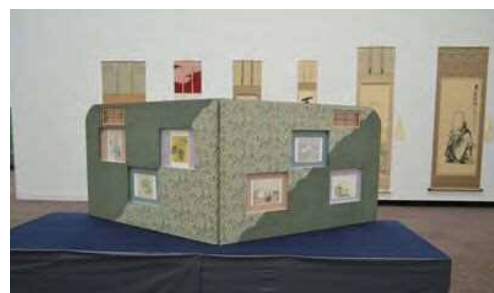
現在、プレカット工法にみられるように住宅の工場生産化が進んでいます。また、洋風化も進み、表具や表装、左官など従来の住宅建築の技能が活かされる場所は限られてきています。我妻さんは、このようななかで表具や表装の技能を残し伝承しようと活動を始め、襖、屏風、額装、障子、和紙張り技能と手漉和紙、表装裂地などを融合させた創作を始めました。2014年に東京表具経師内装文化協会が開催した第56回表装作品展では、手漉き雲竜和紙に刺繍糸を挟み裏打ちしたものを表装し、中央部に透かし襖の技法を使った三曲屏風「賑わわす 屏風」で全国表具経師内装組合連合会会長賞を受賞しています。このほか、我妻さんが創作した作品は100点余りにのぼります。

我妻さんは、厚生労働省から表装部門で、ものづくりマイスターの認定も受けています。



創作屏風

ホームパーティー・慶事など、お気に入りの写真やポストカードの掲示板として両面テープで気軽に貼り付けできます。



上記創作屏風の裏面



北区きらりと光るものづくり顕彰



きらめきの技人部門 **若手枠**

稲場 久也 ファースト電子開発株式会社

所在地 東京都北区上十条 4-15-5

電話 03-5248-6644

ホームページ <http://www.first-ele.co.jp/>

受賞の概要

稲場久也さんは大学で電子工学を学んだ後、防衛用通信機器の設計補助、マイコン製作や基板設計に携わりました。陸上自衛隊に入隊し、通信隊で通信網の構築の任務に就いたこともあります。このような経験をした後、無線機器の設計・製作に携わりたいということから、2012年にファースト電子開発に入社しました。

ファースト電子開発は、各種の無線機器やマイコンなどの開発を受託しています。長い経験を通して無線通信の技術やノウハウを幅広く蓄積し、特にアナログ技術については造詣が深く、ユニークな機器を数多く開発してきました。

稲場さんもユニークな機器を開発しています。人工呼吸器とナースコールが連動する装置は代表例の一つです。これは、呼吸器が異常を感知したとき警報音を鳴らす信号をナースコール信号に変換するもので、この開発では異常信号を波形整形する部分が要で、信号をアナログ変換するフィルターの設計に多くの時間を割きました。

同社の伊藤社長は、「無線技術の基礎が固まってきており、これからも経験を積んで当社を背負って欲しい」と稲場さんへの期待を語っています。



伊藤社長(右)と稲場さん



北区きらりと光るものづくり顕彰



きらめきの技人部門 若手枠

岩田 成弘 電子磁気工業株式会社

所在地 東京都北区浮間 5-6-20

電話 03-5970-8681

ホームページ <http://www.emic-jp.com/>

受賞の概要

岩田成弘さんが勤務する電子磁気工業は、磁気を応用した非破壊検査機器、着磁・脱磁装置、磁気計測器の国内有数のメーカーで、海外でも高い評価を得ています。

岩田さんは、電子磁気工業に入社以来、開発や設計に携わり、「見える化」、「脱・磁気」など、同社の新しい方向を拓いてきました。

岩田さんは大学で電子工学を学び、大学院では磁性材料を研究しました。電子磁気工業に入社すると開発部に配属となり、磁気計測器の薄膜測定用への改造を担当しました。岩田さんは、磁気に拘らず電気を使った焼入れ計測器の開発を提案しました。紆余曲折があり開発中止も検討されましたが、2010年に完成し販売が開始されました。この計測器は、従来の渦電流や超音波を使ったものより簡単に計測できるため、同社の看板商品の1つになっています。このほか、スポット溶接の評価装置など電子磁気工業の新しい方向性を基礎づける画期的な装置の開発に携わってきました。

岩田さんは特許も数多く取得しており、非破壊検査業界でも高く評価されている開発技術者です。



岩田さんが開発した磁気計測機器と応用機器



北区きらりと光るものづくり顕彰



重堂社長(右)と川畑さん

きらめきの技人部門 **若手枠**

川畑 裕輔 宮澤建設株式会社

所在地 東京都北区志茂 2-51-4

電話 03-3901-9703

ホームページ <http://miyazawakensetu.co.jp/>

受賞の概要

川畑裕輔さんは、地元、中央工学校の建築設計科を卒業し宮澤建設に入社しました。それ以来、建物の新築工事、公共工事、改修工事に数多く携わってきました。

宮澤建設は個人住宅と賃貸マンションに力を入れており、主に鉄筋コンクリート造と木造を融合させた「新しい木の家ハイブリッド工法」を提案しています。この工法は1階部分を鉄筋コンクリート造、2階・3階を木造で建築し、鉄筋コンクリートの特性である耐震性・耐久性・遮音性と、木造の特性である木の温もり・通気性を兼ね備えた宮澤建設のオリジナル工法です。また、最大のメリットは上記の特性を生かしながら低コストで建築できることです。

「新しい木の家ハイブリッド工法」を入社以来、数多く担当してきた川畑さんは、この工法は鉄筋コンクリート造の特性と木造の特性との違いを理解することが重要だと言います。これらの知識と今までの施工経験を活かし、「新しい木の家ハイブリッド工法」をこれからも地元北区に広めて行くことが目標だと言います。



ハイブリッド工法による共同住宅。1階はコンクリート打放しで、2階はシックなサイディングを使用し、モダンな建物としました。



上記共同住宅のエントランス

北区きらりと光るものづくり顕彰



石塚社長(左)と興梧さん

きらめきの技人部門 **若手枠**

興梧 健児 株式会社藤原製作所

所在地 東京都北区西ヶ原 1-46-16

電話 03-3918-8111

ホームページ <http://www.fujiwara-sc.co.jp/>

受賞の概要

興梧健児さんが勤務する藤原製作所は、1916年に創業した理化学機器の老舗メーカーです。同社の製品は、官公庁や公的試験研究機関、大学、民間企業の研究所などに幅広く納品されています。

興梧さんは、自分の手を使ってものを造ることが好きで、そのような仕事がしたいと藤原製作所に入社しました。入社すると、すぐに熟練の先輩について手伝いをする傍らで技能の習得に努めました。興梧さんによると、ガラス加工の基本は材料を加熱する際、焼きを一定にするために左右の手の動きを同調させて均等に材料を廻すことであるといいます。これが無意識にできるようになると一人前です。

理化学機器の材料は、主にパイレックスと石英です。この2つの材料は、熱膨張係数、軟化点が異なり、作業性や工程にも違いがあります。両方の材料を扱う職人は少ないのですが、興梧さんは両方の材料を扱えます。また、規格品でも特注品でも対応でき、どのような注文があっても、それに応えられるのが興梧さんの技能の特徴です。



パイレックスガラス製の特注品



石英製品各種

